

リニア学習報告会

リニア中央新幹線は本当に開業できるのか？

岐阜県瑞浪市大湫町ではリニア工事により地下水位低下が起き、周辺の住宅では8センチ程度の地盤沈下が確認され、さらに今後十数年にわたり20センチほどの地盤沈下が進むと言われています。住民は元通りにすることを求めています。JR東海は解決策を提示する事ができずに原状回復断念ともとれる発言をしています。

そうした中、アメリカでは環境影響評価を中止し事実上のリニア計画の中止が発表されました。岐阜県では環境影響評価審査の結果を受け、JR東海に対する意見書を提出しました。懸念されてきたリニア問題が各地で現実になる今、改めてリニア中央新幹線の課題に向き合い、学び、一緒に考えていきましょう。

日時：8月30日（土）
13時30から

場所：サンライフ別館

〒508-0015 中津川市手賀野172-1

☎ 0573-66-1357



特別講師／坂本 満

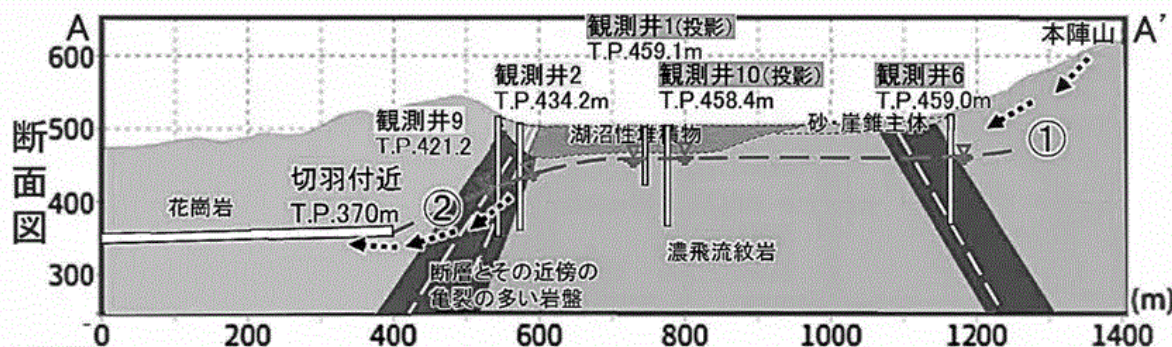
長野県南木曽町議会議員（日本共産党）

地質調査や斜面防災対策などを手掛けてきた技術士で地質学に精通。

今回は「大湫の地下水低下と県地盤委員会審議」についておはなしを伺います。その他、東濃リニアを考える会による「東濃地域のリニア工事概要」や、坂本住民の会による「汚染残土埋め立ての県意見書」の報告をおこないます。ぜひ、誘い合ってお越しください。



主催：リニアを考える岐阜県民ネットワーク／東濃リニアを考える会／リニアを考える坂本住民の会
問合せ：大山 勝 ☎080 (5293) 5428



大湫町の地形と
水位低下対策のための
薬液注入のリスク
※資料は岐阜県HPより

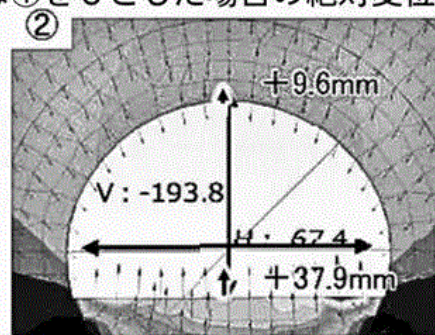
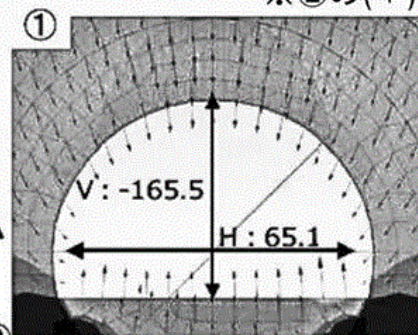
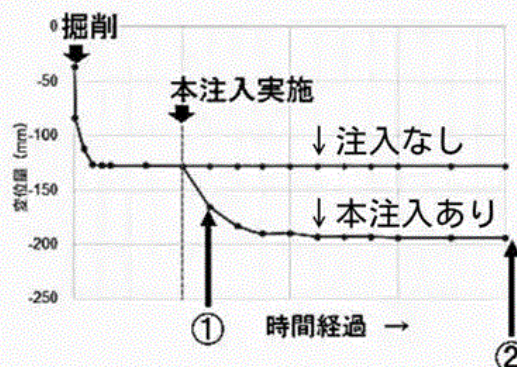
リスクの検証① 解析結果(変位)

- ・本注入では、実施後に変位の変動があり、支保及び構造物への影響が懸念されます。
- ・本注入実施後に構造物を構築すると、注入実施後の水位変動の影響を受け、トンネルが変形した場合、構造物(特に底盤部)に影響を及ぼします。
- ・トンネルの変形は、将来的に地表面に影響を及ぼすリスクとなり得ます。また、嚴重な管理を必要とする軌道が変位するリスクとなり得ます。

鉛直相対変位量

変位分布図

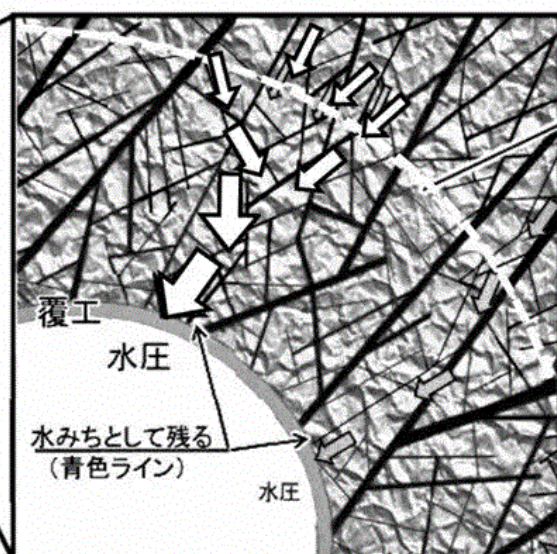
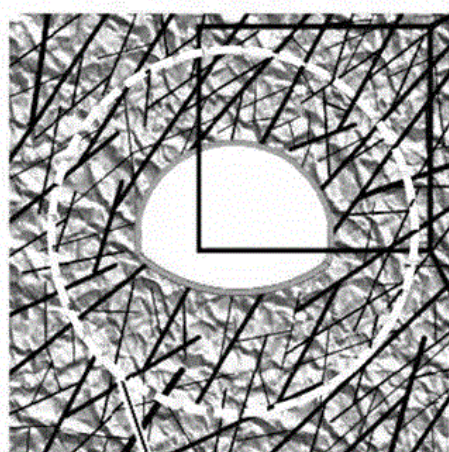
※②の(+)は①を0とした場合の絶対変位



変位量 180 150 100 50 0mm (単位:mm)

リスクの検証②

岩盤の亀裂への注入のイメージ



注入の
計画範囲

亀裂
(水みち)

注入により
ふさいだ亀裂
(※主に注入の
計画範囲)

- ・現地の状況やカバーロックの結果を踏まえると、注入計画の区間は、亀裂性の花崗岩で、岩盤内には、様々な方向や長さ・幅の亀裂が存在するため、計画範囲を超えて注入材が浸透する箇所や計画範囲まで浸透しない箇所や入らないところがあると考えられます。
- ・このように注入材の浸透範囲にバラつきが生じ、トンネル内への水みちが残り、ふさがきれなかった水みち(青色)に多量の水が集中(複数の青矢印)し、覆工等により水圧がかかることが考えられます。
- ・覆工に水圧が作用する場合のリスクの検討として構造解析を行った結果、覆工が鉄筋コンクリートの場合であっても、トンネルの壁面が変形したり、損傷することがわかりました。※北薩トンネル崩落事故